

特別分科会②【高大社連携キャリア教育】

高大社連携の現段階の到達点とミライ ～高校、大学それぞれの立場から～

報告者▶ 鮫島 輝美（京都光華女子大学健康科学部看護学科講師）
報告者▶ 竹林 祥子（京都府立鳥羽高等学校教諭）
報告者▶ 古泉 伊織（福知山公立大学3年生）
報告者▶ 八木 優花（鳥羽高等学校2年生）
コーディネーター▶ 杉岡 秀紀（福知山公立大学地域経営学部准教授）

「高大接続システム改革」を進めるには、各高等学校・各大学が次代を担う若者に必要な資質・能力を明確に捉え、それを育成するための課題を双方の立場で共有し、改革を積み重ねていくことが重要である。このことは、キャリア教育に関しても同様のことが言える。とりわけ高大社連携については、取組事例も少なく、まだ萌芽的取組状況にある。そのため、現在のところは事例を蓄積し、その検証の中から現段階での到達点や課題を確認し未来の姿を展望する必要がある。

そこで、本分科会では高大社連携に取組まれた2つの事例を取り上げ、高校教員・高校生、大学教員・大学生にご登壇頂き、それぞれの立場から最新の取組について話題提供をいただいた。後半は、参加者も巻き込んだ立体的な討論を行い、「高大社連携の現段階の到達点とミライ」について考えるきっかけとなった。

概 略

まず、コーディネーターの杉岡氏から「なぜ高大社連携が必要か」について問題提起がされ、「今日の進め方」について説明があった。次に、大学の立場から鮫島氏から11月3日に開催した「高大社連携フューチャーセッション（主催：京都高大連携研究協議会）」のアンケート結果報告があった。続いて、高校の立場から竹林氏から鳥羽高校のSGH（Super Global High school）としての課題研究の取り組みと11月23日に開催した「高大社連携研修事業（主催：京都中小企業家同友会、共催：福知山公立大学、鳥羽高校、協力：大学コンソーシアム京都）」の報告があった。加えて、大学生と高校生の立場から福知山公立大学3年生の古泉伊織くん、鳥羽高校2年生の八木優花さんから実際に高大社連携事業に参加してみたの感想を報告してもらった。

以上5名のプレゼンテーションを受け、後半はフロアとの対話ということで、質問を考えるグループワークを参加者同士にしてもらい、そこから質疑応答を報告者-参加者間で行った。最後は本日の感想を共有し、閉会とした。

全体討論の内容

教員へは「コーディネート現状や課題、あり方とは?」「問いはどのようにして立てている?」「どういう社会を作りたい?」といった質問、学生へは「SGHの授業と部活のバランスは取れているのか?」「将来の夢は?」「これからどんな人生を送りたいか?」といった質問が寄せられ、それぞれの立場から回答を行った。

2本の教員報告、学生2名から気づきの報告、質疑応答を踏まえ、最後にコーディネーターから全体討議を通し、高大社連携の現段階の到達点としては、①「本物（現実）」に触れる機会に繋がっている、②学びと働きをつなぐ「ごちゃまぜの」学び合いのコミュニティ（応援団）を担っている、③学生が「本気で」成長する（脱皮する）きっかけが学内外にできている、の3点ではないかとの整理があった。他方で、高大社間でよりPublic Relations（公的な繋がり）を構築していく必要性・重要性があるとの課題を提示し、まとめとした。

到達点と今後の課題

本分科会はフォーラムとして、昨年度に引き続き、今年度も全体で最も参加者の多い分科会となった。これは高大社連携キャリア教育への参加者の関心やニーズが高いことの現れであると理解できる。

本年度の最大の特徴は、①単発型（1日）の高大社連携、②事業型（約半年間）の高大社連携の2つの事業結果を素材（情報）として提供し、参加者に比較検証できるようにしたことと、大学・高校の教員だけでなく、昨年に引き続き、実際の学習者である大学生、高校生にも登壇してもらい、立体的な議論になるよう心がけたことである。また、これも昨年同様であるが、進行についても参加者同士で対話してもらう仕掛けを組み込み、一方通行にならないよう配慮し、まさにアクティブラーニング型の分科会とした。その結果、質問も多く寄せられ、パネラー間だけでなく、会場全体で立体的な議論とすることができた。以上が到達点である。

課題としては、内容面では高大社の「社」の登壇者を準備できなかったこと、内容面以外では、スクール形式で広すぎる教室だったため、ややグループワークがしにくかった点などが挙げられる。



スライド 1

2018年12月8日資料

「第16回高大連携教育フォーラム」 高大社連携キャリア教育特別分科会②

1. はじめに
2. なぜ高大社連携が必要か
3. 本日の進め方
4. 連絡先

杉岡 秀紀
福知山公立大学地域経営学部准教授
同 北近畿地域連携センター長
大学コンソーシアム京都 高大連携推進委員

スライド 2

1. はじめに

【テーマ】

「高大社連携の現段階の到達点とミライ —高校、大学それぞれの立場から—」

(参考)2017年テーマ
「高大社連携の必要性と課題—学生が育つ環境は誰が創るのか—」

杉岡秀紀(福知山公立大学)

スライド 3

1. はじめに

【自己紹介】

2003年 同志社大学経済学部卒業
2003年 まちづくりNPOきゆうたなべ倶楽部 主宰(代表)
2007年 同大学院総合政策科学研究科 博士前期課程修了
2007年 内閣官房行政改革推進本部事務局 参事官付
2009年 同大学院総合政策科学研究科 博士後期課程退学
一般財団法人地域公共人材開発機構 事務局総括
同志社大学政策学部 嘱託講師
2012年 京都府立大学公共政策学部 講師
同 地域連携センター 副センター長
2016年 福知山公立大学地域経営学部 准教授
同 北近畿地域連携センター長(2018~)
2017年 総務省主権者教育アドバイザー
杉岡秀紀(福知山公立大学)

スライド 4

【主な著書】

- ・『地域力再生の政策学』(共著/ミネルヴァ書房/2010年)
- ・『地域貢献としての「大学シンクタンク」』(編著/公人の友社/2013年)
- ・『地域公共人材をつくる』(共著/法律文化社/2013年)
- ・『地方自治を問いなおす』(共著/法律文化社/2014年)
- ・『もう一つの「自治体行革」』(編著/公人の友社/2014年)
- ・『持続可能な地域実現と大学の役割』(共著/日本評論社/2014年)
- ・『地域力再生とプロボノ』(編著/公人の友社/2015年)
- ・『地域創生の最前線』(編著/公人の友社/2016年)
- ・『自治体政策への提言』(共著/北樹出版/2016年)
- ・『「みんな」でつくる地域の未来』(共著/公人の友社/2017年)
- ・『合併しなかった自治体の実際』(編著/公人の友社/2017年)
- ・『現場から見た「子どもの貧困」対策』(共著/公人の友社/2018年)
- ・『NPO最善戦』(共著/京都新聞出版/2018年)



スライド 5

2. なぜ高大社連携が必要か

【問い①】

次の2枚の写真から 「これからの学びと働き」 について何を思いますか？

杉岡秀紀(福知山公立大学)

スライド 6



アルク
明日につづくことば。
Musio



人間と自然に親近するアン・ド・ロイヤルの研究開発プラットフォーム「ERICA(エリカ)」
(©ERATO石炭共生コミュニケーション・イノベーションプロジェクト)

スライド 7

2. なぜ高大社連携が必要か

【オックスフォード調査(M.A.オズボーン博士)2016】

向こう10～20年間で現在の47%の
仕事が機械に取って代わられる。

杉岡秀紀(福知山公立大学)

7

スライド 8

2. なぜ高大社連携が必要か

【米国デューク大学(キャシーデビッドソン)2011】

「2011年にアメリカの小学校に入学し
た子供達の65%は、大学卒業時に今
は存在していない職業につくだろう」

杉岡秀紀(福知山公立大学)

8

スライド 9

2. なぜ高大社連携が必要か

【問い②】

卒業生が100人いるとして、
3年後も同じ職場で働いている人
は何人いると思いますか？

杉岡秀紀(福知山公立大学)

スライド 10

2. なぜ高大社連携が必要か

【答え】

「31人」

杉岡秀紀(福知山公立大学)

スライド 11

2. なぜ高大社連携が必要か

(内訳)

100人

ー12人(中退)

ー13人(留年)

ー12人(進学)

ー18人(就職失敗)

ー14人(3年以内離職)

=31人(3年以上継続)

杉岡秀紀(福知山公立大学)

スライド 12

2. なぜ高大社連携が必要か

【問い③】

なぜこのようなミスマッチが
生まれているのでしょうか？

杉岡秀紀(福知山公立大学)

スライド 13

2. なぜ高大社連携が必要か

【仮説】

学び(学生)と働き(社会)の間に
「溝／距離／ギャップ」があるからでは？

杉岡秀紀(福知山公立大学)

スライド 14



スライド 15

2. なぜ高大社連携が必要か

【大学生白書2018 要旨】

○文科省のリードでこの10年間様々な教育改革がなされてきた。

○しかし、2007年から10年間の「大学生のキャリア意識調査」によると、①学習量、②ボランティア参加率、③インターンシップ参加率は増えていない。

○社会に開かれた活動より、趣味に走る個人思考スタイルが多い。

↓
今の大学教育では学生は変えられない

スライド 16

「大学生のキャリア意識調査」質問リスト

- | | |
|--|--|
| <p>Q1 あなたが大学に入学しようと思ったのはなぜですか (入学前・現在)</p> <p>Q2 あなたの大学生活において下記の23項目の能力や事柄がどの程度身につきましたか (授業・授業以外の活動)</p> <p>Q3 大学生活の中で、現在最も重点をおいていることを選んでください</p> <p>Q4-1 一週間の生活を振り返って、あなたは次の活動にどれくらいの時間を費やしていますか</p> <p>Q4-2 「授業とは関係のない勉強を自主的にする」の勉強とは具体的に何ですか</p> <p>Q5 あなたの学生生活は充実していますか</p> <p>Q6-1 あなたは、今までにボランティア活動にどの程度参加しましたか (大学入学前・大学入学後)</p> <p>Q6-2 ボランティア活動への参加は今のあなたにどの程度影響を及ぼしていますか (大学入学前・大学入学後)</p> <p>Q7-1 あなたは、今までに企業・学校・官公庁等へのインターンシップ (職務体験、就業体験などを含む) にどの程度参加しましたか (大学入学前・大学入学後)</p> <p>Q7-2 インターンシップへの参加は今のあなたにどの程度影響を及ぼしていますか (大学入学前・大学入学後)</p> <p>Q8-1 あなたは、中学・高校での進路指導などで、就職や将来の生き方についてどの程度考える機会を与えられましたか</p> <p>Q8-2 そのことばかりがあなたにどの程度影響を及ぼしていますか</p> <p>Q9 あなたは、将来どこまで進学を考えていますか</p> <p>Q10-1 (二つのタイプ) あなたは、自分の将来についての見通し (将来にいう風でありたい) を持っていますか? あなたはその見通しの実現に向けて、今自分は何をするべきなのか分かっていますか。また、それを実行していますか</p> <p>Q10-2 その見通しは、あなたが最も重要なものを1つ思い浮かべてください。それは何ですか</p> <p>Q11 あなたは、大学に入ってから、ある問題を考えたり、発表したり、ディスカッションをしたりする参加型の授業や演習にどの程度参加してきましたか</p> <p>Q12-1 あなたは大学に入って、単位の出るキャリア教育科目 (就職対策や人生設計などに関する授業科目) をどの程度受講しましたか</p> <p>Q12-2 キャリア教育科目の受講は今のあなたにどの程度影響を及ぼしていますか</p> | <p>Q13-1 あなたは大学に入って、キャリアサポートセンターなどが主催する、単位とは無関係のキャリア形成支援 (就職対策や人生設計など) のためのセミナーや講座 (就職ガイダンスや就職セミナーを含む) をどの程度受講しましたか</p> <p>Q13-2 そのことは今のあなたにどの程度影響を及ぼしていますか</p> <p>Q14-1 あなたは大学で、就職に関する相談 (人生設計に関する相談も含む) を、個別にしたことがありますか</p> <p>Q14-2 就職に関する相談をどのような方法にしましたか</p> <p>Q14-3 就職相談をしたことは今のあなたにどの程度影響を及ぼしていますか</p> <p>Q15 あなたは就職に備えて、大学で専門の勉強をする以外に、何か資格を持っておくことが必要だと考えていますか</p> <p>Q16 あなたは、現在考える将来の仕事や人生を、いつ頃から考え始めましたか</p> <p>Q17 あなたにとって、就職や将来のことばかりが気になるようになって今を生きにくい、今が充実していないということがありますか</p> <p>Q18-1 あなたの就職 (あるいは保護者) は、あなたの就職や将来のことに関して、どれくらい関与しますか</p> <p>Q18-2 あなたにとってこの両親 (あるいは保護者) の関与の仕方どの程度良いものですか</p> <p>Q19-1 現在所属する大学や学部、学科・コースは、あなたの就職や将来に対して希望を与えてくれますか</p> <p>Q19-2 希望を与えてくれないのはなぜですか</p> <p>Q20 あなたは就職活動をいつ頃から始めようと考えていますか (あるいはいつ頃から始めましたか)</p> <p>Q21 あなたは将来就職して3年以内に、どの程度転職があるだろうと予想していますか</p> <p>Q22 転職時の雇用形態に関する次の文章を読んで、あなたの考えに最も近いものをお知らせください</p> <p>Q23 あなたが就職した場合は、仕事にいつまで続けようと考えていますか</p> <p>Q24 仕事に最も近いものがあります。あなたはどんな仕事で理想の仕事をしたいと考えていますか</p> <p>Q25 仕事と余暇のあり方について、あなたはどれが最も望ましいと思いますか</p> <p>Q26 主体的な学習態度</p> |
|--|--|

スライド 17

2. なぜ高大社連携が必要か

【大学生白書2018 提言】

○中学校・高等学校から、先々の仕事・社会をある程度見据えながら生徒の資質・能力などを育てる。

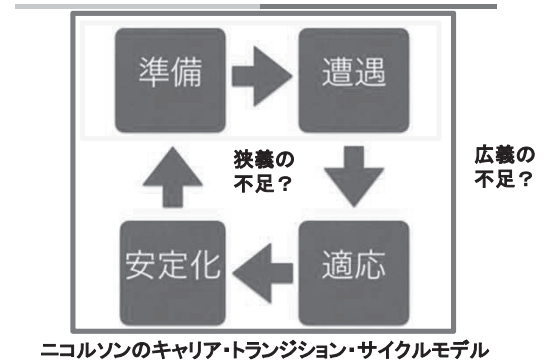
○大学や仕事・社会に彼らの学びと成長(バトン)を引き渡していく「トランジション・リレー」が必要。

杉岡秀紀(福知山公立大学)

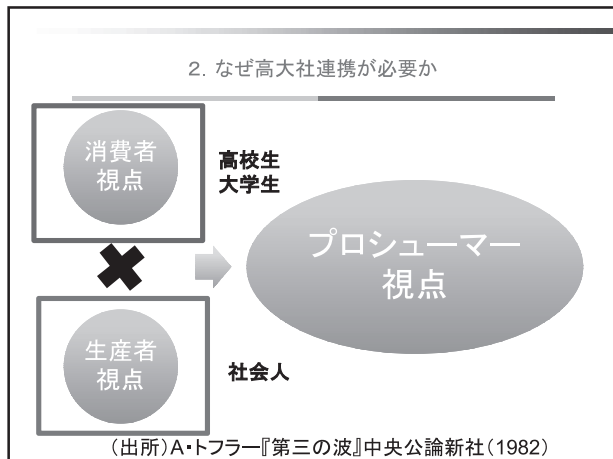
17

スライド 18

2. なぜ高大社連携が必要か



スライド 19



スライド 20

2. なぜ高大社連携が必要か

(参考)【学事暦の多様化とギャップタームに関する検討会議】(平成26年4月)

○豊かで安定した日本社会で育った今の学生たちは、「何のために学ぶのか」という動機付けが不足し、学修態度が受け身であるとの指摘がある。

○「何のために学ぶのか」。この答えを学生自身が見つけていくためには、できるだけ早いタイミングで、世界や社会の現実の中に飛び込み、異なる価値観にぶつかる社会体験を通じて、心身ともに鍛えられ、自らの殻を幾度も脱皮することによって、広い視野と高い志を養い、そして主体的な学びのスイッチを入れていく過程が重要。

杉岡秀紀(福知山公立大学)

20

スライド 21

鳥羽高校 × 大学生

☑ イノベーション探究！ 福知山公立大学とのワークショップ実施 © 2017/10/14

10月14日(土)
1年生グローバル科「イノベーション探究！」の時間に、福知山公立大学准教授杉岡秀紀先生をお招きし、「プレゼンテーション」に関する講義及びワークショップに取り組みました。
ワークショップでは、「相手に伝える」だけでなく「相手に伝わる」ためにはどのようにしたらよいのかを検討し、グループ内でまとめる活動を行いました。その後、プレゼンテーションに必要な8つのポイントについて学びました。
今後の「イノベーション探究！」の取組では、夏休みに各グループが行ったフィールドワークの成果をもとに、来年1月27日実施予定の校内課題研究発表会に向けて、グループで協働して課題研究に取り組んでいきます。

スライド 22

東舞鶴高校 × 大学生 × 商店街

2017/10/12
商店街活性化についての調査

2年生総合学習コースの選択科目「社会とくらし」では、地域の歴史や産業や地域資源の活用、地域で活動する人々との交流を通して、地域への理解を深めてきました。

これまでの取組のまとめとして、12月12日(水)、福知山公立大学より杉岡秀紀准教授をお招きし、「地方創生と商店街再生」と題して講演いただきました。

人口減少と高齢化の現状について、なぜ地域の活性化が必要とされているのかについて説明された後、講演における商店街再生の取組をいくつか紹介されました。

講演を聴き終え、たくさんの方が熱心な質問や意見を伺っていました。

講演後もまた、商店街の活性化に貢献できるような、一人ひとりが地域のことを考えるための取組をすすめていくこととなりました。

これから生徒たちは、講演にふさわしいキャラクターを考えるプロジェクトに取り組んでいます。考え出されたキャラクターは、実際にリリースされる予定です。どんなキャラクターが生まれるのでしょうかこの取組を通して、地域への理解を深めることができればいいと思います。

スライド 23

高校生 × 大学生 × 社会人

未来の自分と出会う一日

高大連携
フューチャーセッション
in 福知山公立大学

日時 2017年3月18日(日) 10:30~18:00 (受付開始 10:00)
会場 福知山公立大学 21C10食堂
9:00開場 参加者受付開始
4:00開校記念式典挙行

対象 高校生・大学生 (定員各10名、事前計下の高校・大学に達9学生(計))
※参加費無料、昼食・交通費支給 (各)

主なプログラム
「ライフデザイン・ソーシャルデザイン・フューチャーデザイン」
1. 「学べばいい」職について考える
2. 社会人の「学び」(学び方)について考える
3. 自分自身の未来について考える

主催 京都府立大学 准教授 杉岡 秀紀 (福知山公立大学)
お問い合わせ 杉岡 秀紀
Eメール: kouda@fukuchan.ac.jp
TEL: 077-7752-7752
FAX: 077-7752-7752 (休校日を除く)

主催 京都府立大学 准教授 杉岡 秀紀 (福知山公立大学)
お問い合わせ 杉岡 秀紀
Eメール: kouda@fukuchan.ac.jp
TEL: 077-7752-7752
FAX: 077-7752-7752 (休校日を除く)

スライド 24



スライド 25

高校生×大学生×市民

平成28年年度「ふくちや中京地区交流ワークショップ」を開催しました！



スライド 26

高校生×大学生×議員

高大議連携による模擬選挙&フューチャーセッションを実施しました

レポート | 2017.11.14

2016年から選挙権が18歳まで引き下げられましたが、福知山市は前回の市議員選挙において京都府北部の中で最も投票率が低い結果となりました(52.4%)。若者の政治参加、シニアシップ教育のあり方を考える機会として、議会改革が進む福知山市議会、近年若者教育のモティベーションを高めようとしている大正高校と連携し、「模擬選挙&フューチャーセッション」を2017年11月10日(金)の地域活動館(旧市民会館)で実施しました。当日は丹波市議会議員の方も見学されました。

議員を招いた杉原清教員は今年の11月から杉原市の若者教育アドバイザーに就任されています。最初に若者投票率をのめる状況について議員がありました。10代の投票率は全体の約半を下回っており、投票方法の改善や若者が投票する意欲を持つことが重要について話がありました。その後、模擬選挙用に作成された、立候補者のマニフェストを見ながら、実際に選挙で使用される投票箱と記名台を使用して参加者が投票しました。投票終了後は市議会議員、大学生、高校生がグループにわかれて、「地元の議会(政治)と若者の投票率を高める方策」についてワークショップを行いました。参加した議員の方からは「若者や大学生の若者の議会や政治参加に対する意識の高さ驚かされた。このような意見を今後議会活動に反映できるようにしていきたい」との感想をいただきました。



スライド 27

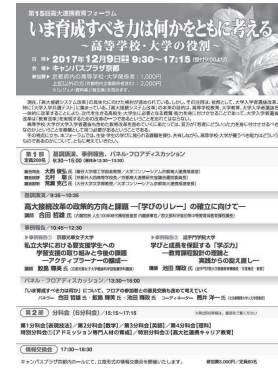
高校生×大学生×経営者



01

スライド 28

高校教員・高校生×大学教員・大学生×経営者



スライド 29

高校生×大学生×経営者・首長・公務員・メディア人

高大連携フューチャーセッション

地域づくりは誰のためか？ 何のためか？

～マルチセクターから考える～

日時 2018年2月24日(土) 11:00~16:30(受付開始10:30)

会場 福知山市 市民交流プラザ 市民交流スペース (〒620-0045 京都府福知山市南河原4-4-4) 福知山駅北口徒歩1分

対象 京都市内の高校・大学に通う高校生・大学生(学部名30名)

京都市内高校生・大学生については事前申込の必要あり

7時54分

11:00~ 開会挨拶、アイスブレイク

12:00~ 昼休憩(昼食)を兼ねた15分

13:00~ ロールプレイトーク

参加者がグループで地域づくりに関与している各セクターの代表者(市長、若者、若者、若者)と対話し、地域づくりについて話し合います。

14:30~ ワークショップ

より多くを地域づくりのモデルにみなで取り組んでみましょう

16:00~ 振り返り、まとめ

16:30 終了

【問い合わせ・申し込み先】

京都市内高校生・大学生(京都市内高校生・大学生)

〒600-4216 京都市下京区西京極南1-1-1 京都市役所 総務部(075-222-1111)

TEL: 075-222-1111(内線) 075-222-1111(外線) 075-222-1111(ファクス)

【主催】京都市内高校生・大学生協議会 共催：福知山公立大学

地域づくりは誰のためか？何のためか？

「地域づくり」とは、地域社会の発展や持続可能性を高めるための取り組みです。地域づくりは、地域社会の発展や持続可能性を高めるための取り組みです。地域づくりは、地域社会の発展や持続可能性を高めるための取り組みです。

講師

山崎 隆夫氏 (京都市内高校生・大学生協議会 代表)

森田 寛氏 (京都市内高校生・大学生協議会 代表)

川内 隆一氏 (京都市内高校生・大学生協議会 代表)

川内 隆一氏 (京都市内高校生・大学生協議会 代表)

コーディネーター

杉原 清氏 (福知山公立大学 教員)

参加申込書

2月19日(金)まで、以下URLから申し込みください。

大学コンソーシアム京都市事務局にて申し込みください。

【申込方法】

1. この申込書に必要事項を記入し、2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

2. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

3. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

4. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

5. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

6. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

7. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

8. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

9. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

10. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

11. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

12. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

13. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

14. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

15. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

16. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

17. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

18. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

19. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

20. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

21. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

22. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

23. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

24. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

25. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

26. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

27. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

28. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

29. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

30. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

31. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

32. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

33. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

34. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

35. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

36. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

37. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

38. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

39. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

40. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

41. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

42. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

43. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

44. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

45. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

46. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

47. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

48. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

49. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

50. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

51. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

52. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

53. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

54. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

55. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

56. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

57. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

58. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

59. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

60. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

61. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

62. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

63. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

64. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

65. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

66. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

67. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

68. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

69. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

70. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

71. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

72. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

73. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

74. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

75. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

76. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

77. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

78. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

79. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

80. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

81. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

82. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

83. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

84. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

85. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

86. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

87. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

88. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

89. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

90. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

91. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

92. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

93. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

94. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

95. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

96. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

97. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

98. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

99. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

100. この申し込みの可否を2月19日(金)までに以下URLから申し込みください。

スライド 30



スライド 37

3. 本日の進め方

【問い①】

高校と大学、学生と社会人の距離
(溝・ギャップ)は縮まった？

37

スライド 38

3. 本日の進め方

【問い③】

現在の高大社連携の取り組みの
最大の課題は何？

38

スライド 39

3. 本日の進め方

【問い③】

高大社連携の取り組みを広げる
ためにはどうしたら良い？

39

スライド 40

4. 連絡先



杉岡 秀紀

福知山公立大学 地域経営学部 准教授
同 北近畿地域連携センター長
総務省主権者教育アドバイザー
(住所)〒620-0886 京都府福知山市字堀3370
(Tel)0773-24-7100 (FAX)0773-24-7170
(E-mail) sugioka-hidenori@fukuchiyama.ac.jp (職場)
(HP) <http://sugiokahidenori.jimdo.com>
(facebook) <http://www.facebook.com/hidenori.sugioka/>

40

スライド 1

第16回 高大連携教育フォーラム
特別分科会②【高大社連携キャリア教育】
高大社連携の現段階の到達点とミライ
～高校の立場から～

京都府立鳥羽高等学校
教諭 竹林祥子

2018年12月8日
於：キャンパスプラザ京都

スライド 2

報告内容

- 1 鳥羽高校概要
- 2 鳥羽高校の課題研究の流れ
「イノベーション探究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」
(総合的な学習の時間)
- 3 「イノベーション探究Ⅱ」の流れ
- 4 高大社連携の取組
「イノベーション探究Ⅱ」
- 5 高大社連携の推進

スライド 3

1 鳥羽高校概要

鳥羽
Take High School
Perfect Guide 2019

鳥羽高等学校
〒617-0001 京都府鳥羽市鳥羽
TEL: 077-222-1111 FAX: 077-222-1112
E-MAIL: info@take-hs.ac.jp

スライド 4

2 鳥羽高校の課題研究の流れ

資料

学校設定科目
教科横断

「総合的な学習の時間」

鳥羽の学びネットワーク
高大社連携

グローバル・コミュニケーションⅠ
ソーシャル・インテリジェンス

イノベーション探究Ⅰ(1年次)
地域再発見プログラム
●研究グループによる協働探究学習
●プレゼンテーション形式の校内発表会

グローバル・コミュニケーションⅡ
京都の風土・世界の風土

イノベーション探究Ⅱ(2年次)
グローバル・ジャスティスプログラム
●3領域に分かれた研究グループでの課題研究
●全国発表会でのポスターセッション
●日本語による研究グループ論文作成

グローバル・コミュニケーションⅢ

イノベーション探究Ⅲ(3年次)
ユニバーサルプログラム
●「鳥羽グローバルサミット」の開催
●英語による研究グループ論文作成

大学・博物館・図書館と連携したワークショップ

大学・博物館と連携したワークショップ
京都の中小企業と連携したインターンシップ

海外大学生留学生とのワークショップ

スライド 5

3 仮説構築を目指す「イノベーション探究Ⅱ」
リサーチクエストと仮説の構築に主眼

外部のチャカラ 高大社連携

■Step1 研究テーマ(仮)決定シート
ツッコミシートでのテーマ磨き

■Step2 研究計画書Ver.1+調査シート
大阪大学AW講座でのRQ磨き

■Step3 研究計画書Ver.2=ポスター
ポスターセッションでの仮説磨き

■Step4 研究計画書Ver.3=研究ノートに向けて

■Step5 研究ノート → 3年次の英語エッセイへ

スライド 6

4 「イノベーション探究Ⅱ」高大社連携の取組

■Mission「中小企業の経営課題に取り組む」

■Research 2グループが研究開始

■Internship&Interview 実際に企業へ

■Poster Session 研究成果中間発表

■Discussion 経営者と経営課題について語る

■Essay 研究ノート(研究グループ論文)

スライド 7

4 課題研究「中小企業の経営課題に取り組む」

最初の研究テーマ

「中小企業が優秀な人材を確保するには」

「日本の職場の息苦しさは何処に起因するのか」

スライド 8

4 経営者インターンシップ

7月30日

2つの研究グループが

(株) 桂建材店

(株) エージェンシーアシスト を訪問

インターンシップと自分達の課題研究について質問



スライド 9

4 経営者インターンシップ生徒の変容

・社長さんの考え方はとても温かくて、従業員や他の企業とのつながりを大切にしている、信頼を得ていた。私が想像していた冷たいビジネスとは違った。

・社員の方々の仕事内容を見て、実際に仕事をするということを自分に当てはめて想像できるようになりました。



スライド 10

4 経営者インターンシップ経営者の方からのコメント

・就職に直結しないので、いろんな話や意見交換がフラットにできた。建設業界を高校生に理解してもらうにはどうしたらいいか真剣に考えるよい機会になった。

・今の高校生の社会に対するイメージや理解度を知ることができた。思った以上にマイナスイメージを持っており、インターネットやニュースに大きく影響されている。

・次世代の若者が幸せになれる社会を考えた時に、教育現場だけでなく、企業側も変わっていかなければならないと感じた。

スライド 11

4 京都中小企業家同友会2018高大社連携研修事業

11月23日

- ・中小企業の経営課題研究成果を発表
- ・グループ討論

『中小企業の本気の課題に学生はどこまで取り組むことが出来るのか！？』



スライド 12

4 高大社連携研修事業 生徒の変容

・人生の先輩である経営者の方から「悩むのは大人になっても悩む。その悩みの中で学んだことをどう生かすかだ」という話を聞いて前向きになった。

・概念としてしかとらえていなかった中小企業が、経営者の方の温かみや実際の悩みを聞いて、身近で形あるものとして肌で感じる事ができた。



スライド 13

4 鳥羽高校の課題研究の割り切り

- ①高校では研究の型や作法の修得をめざす
リサーチクエストと仮説の構築に主眼
研究の内容・質にはハイレベルを求めすぎない
教員の過干渉→生徒の負担感→研究嫌いに
- ②高校ではグループによるチーム探究を行う
人員配置、予算上の限界⇔協働力向上
- ③外部のチカラ＝高大社連携で進める
探究意欲・キャリア意識向上、教員もレベルアップ

スライド 14

5 高大社連携の推進（本年度これまで） 委託

- 「イノベーション探究Ⅰ」
 - ・資料論・地域遺産論（京都文化博物館）
 - ・フィールドワーク入門（福知山公立大学）
 - ・チームビルディング（京都光華女子大学）
- 「イノベーション探究Ⅱ」
 - ・鳥羽高校の課題研究について（京都光華女子大学）
 - ・よい研究発表とはどのようなものか？（大阪大学）
 - ・博物館の仕事いろいろ（国立民族学博物館）
 - ・経営者インターンシップ（京都中小企業家同友会）
 - ・アカデミック・ライティング講座（大阪大学）
 - ・2018高大社連携研修事業（京都中小企業家同友会）
- 鳥羽グローバル・サミット
21ヶ国33名の海外大学生・京都で学ぶ留学生が参加
（京都府名誉友好大使、きょうと留学生ハウス等）

スライド 15

5 高大社連携の推進（本年度これまで）

■株式会社片岡製作所 海外インターンシップ （SGH海外研修で全て実施）

- ・京都本社【7月24日】
- ・韓国片岡、SJT【8月8日】
- ・上海片岡、三菱東京UFJ【11月1日】



■京都南ロータリークラブキャリアガイダンス

【9月15日】

- ・代表取締役社長・若手社員が来校
パネルディスカッションおよび
グループディスカッションを実施
- ・テーマ例
働くことの意義
グローバル社会で求められる資質 等



スライド 16

5 高大社連携の推進（本年度これから）

■グローバル・キャリアパス・プログラム

- アドバイザーによる授業をとおして、民間企業等のグローバルな視座と知見に触れ、グローバル・リーダーとして求められる幅広い教養と専門性を身につける。
- 昨年度から規模を拡大し（2社→5社）本格実施

御協力いただく企業（実施授業）

- ・株式会社 松栄堂（国語総合）
- ・株式会社 岡墨光堂（京都の風土・世界の風土）
- ・株式会社 片岡製作所（物理G）
- ・株式会社 JR西日本ホテル開発
（グローバル・コミュニケーション）
- ・京都青果合同株式会社（ソーシャル・インテリジェンス）



スライド 17

5 高大社連携の推進（次年度以降）

鳥羽高校 次の課題

■大学・企業等と協働するコンソーシアムの構築

思いと目的を共有

これまで実施してきた個々の高大連携、高社連携を有機的に関連付け、将来の地域ビジョン・求める人材像・付けたい力を共有する協働プログラムの研究開発を推進

カリキュラム・マネジメント

スライド 18

まとめ 高大社連携のBefore&After

■Before

日本の職場の息苦しさは何処に起因するのか



■After

日本の雇用状況に対して良くない印象を持っており、僕が将来就職する際のことを考えて暗鬱としていたのですが、インターンシップに参加した後は、雇用環境が整った職場を拝見し、僕が働く将来が明るくなりました。